

大江地区 ☆第2回ボッチャ大会☆開催報告☆

「ボッチャ」は、世代・障がいの有無に関わらず参加できるペタンクとカーリングを併せたような簡単で楽しいスポーツです。パラリンピック正式種目になっています。

～高齢者と障がい者施設の方達が一緒にボッチャを楽しみました～

天王寺区民センターで1月23日(月)に大江地区第2回ボッチャ出前大会が開催されました。大江地区社会福祉協議会、大江地区高齢者食事サービスの利用者及びボランティアの皆さん、社会福祉法人大阪府家内労働センター連合授産場から総勢16チームが参加しました。また、天王寺区地域福祉アクションプラン推進委員会第2部会障がい班が開催の支援をしました。

審判には、天王寺区身体障害者団体協議会会長やボッチャ審判員養成講座を受講して下さった方々等、8名の皆さんが交代で協力してくださいました。

今年は、おいしいコーヒーを淹れるボランティアグループ「オレンジ・スター」のみなさんがコーヒーを用意してくださり、ゲームの合間にほっとひといきできる交流スペースを設けました。

連合授産場の利用者の皆さんがボール拾いや応援団などで大会のお手伝いをし、ゲームはとても盛り上がりました。また、ゲーム終了後、連合授産場のコーラス部のみなさんが歌と踊りを披露してくれました。参加賞として大江地区からふれあい喫茶の参加券を、連合授産場から利用者が作ったタオルかけをプレゼント交換しました。

100名を超える方が参加され、より一層、ボッチャを通して、地域の中で高齢者、障がいのある方達の交流が深まりました。



※ 天王寺区地域福祉アクション障がい班は、障がいの理解普及をめざし、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりに向けた様々な取り組みを行っています。